

最新

技術検証

ICカードと思い出の画像を組み合わせた
パスワードが進入時のカギとなる

セキュリティエリア用ゲートシステム——(株)SKRテクノロジー

暗証番号・文字パスワードは本人が忘れることもあり、しかも簡単なパスワードでは他人に推測されやすく、悪用されて被害を受けることも多い。一方、指紋や虹彩といった生体認証も様々な要因が重なって本人拒絶が起こることがあり、原理的にそれをゼロにはできないし、コピーされる危険もある。セキュリティエリア用ゲートシステムは、セキュリティエリア進入時の認証によって、確実に本人確認が取れた場合のみ進入を許可するシステムで、本人認証なしの通過はアラームと表示灯で警告するので、不正アクセスの状態も一目で把握できる。もちろん退出用リーダー併用で出退勤管理も可能。

同システムの企画開発・販売を手が

ける同社がこの度、「ニーモニックガード(視覚長期記憶型認証ソフトウェア)」を使用して、どなたにでも心に残る思い出や記憶の中にある忘れられない人・物の画像を組み合わせた照合データ(パスシンボル)がパスワードになるセキュリティゲートシステムデモ機を完成させた。思い出の画像なら本人はラクラク認証、一方、他人のなりすましは確実に排除されるので、安心・安全です。

システム構成・フローチャートは、①タッチパネル付きPC(入出用リーダー内臓)や判定装置付きコントローラー(退出用リーダー内臓)にICカードを近づける②登録済ICカードと識別されるとディスプレイ上にICカードで指定した認証画面が表示される③認証用パスシンボル入力

④本人認証の場合—コントローラー表示は「青」、エリアセンサーはOFF。他人判定の場合—コントローラー表示は「黄」、エリアセンサーはONのまま。異常事態の場合—コントローラー表示は「赤」、エリアセンサーはOFFです。カードなしでの侵入、及び正しく本人認証されなかった場合にはアラームと表示灯で警告すると同時に、管理部門への通報システムと連動することも可能。既存のポイントカード・クレジットカードと組み合わせると、1枚のカードで入出管理も可能で大変便利。空港のVIPラウンジ、金融機関・自治体窓口への入出、学校・学習塾など用途は繁多。

